

社会資本整備審議会 道路分科会

第6回近畿地方小委員会

議事概要

1. 日時 平成24年8月1日(水) 10:00~11:40
2. 場所 近畿地方整備局 第1別館 3階 第四会議室
3. 出席者

[委員]

かわもと よしみ
川本 義海
なかせ いさお
中瀬 勲

福井大学大学院工学研究科 准教授

兵庫県立人と自然の博物館 副館長

兵庫県立大学 教授

たまおか かおる
玉岡 かおる

作家

ふじい さとし
藤井 聡

京都大学大学院工学研究科 教授

むねた よしふみ
宗田 好文

京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授

◎ やました あつし
◎ 山下 淳

関西学院大学法学部 教授

※敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議事

(1) 計画段階評価(近畿自動車道紀勢線(すさみ~太地))について

- ・地域意見を踏まえた対応方針(案)
- ・対策案の評価

(2) 議事概要

<委員からの主な意見>

- ・アンケートやヒアリングにより幅広く、多くの意見が得られ、非常に良くまとめられている。これらの意見を今後に生かすために、記入者の属性(年齢や免許所有の有無等)と自由意見の分析等を行うことも重要。
- ・「主な自由意見」とすると、主要な意見、数が多かった意見と誤解される恐れがあるため、誤解を与えないよう工夫すること。
- ・限界集落等の問題については、新しく出来る道路を利用して地元の自治体と協力しあうパートナーシップを作っていただきたい。
- ・ルート帯の選定、IC配置の考え方については妥当である。
- ・次の2点を近畿地方小委員会の附帯意見とする。
 - ・東海・東海南海・南海地震等による地域の防災上等のことを考え、近畿自動車道紀勢線(すさみ~太地)について、できるだけ早く着手し、開通するよう取り組むこと。
 - ・今後のルート、インターチェンジ等の詳細な設計段階においては、自然環境や歴史的・文化的遺産への影響について十分配慮すること。

第6回近畿地方小委員会

近畿自動車道紀勢線（すさみ～太地）

計画段階評価における附帯意見

- 東海・東南海・南海地震等による地域の防災上のことを考え、近畿自動車道紀勢線（すさみ～太地）について、できるだけ早く着手し、開通するよう取り組むこと。
- 今後のルート、インターチェンジ等の詳細な設計段階においては、自然環境や歴史的・文化的遺産への影響について十分配慮すること。

平成24年8月1日

近畿地方小委員会委員 山下 淳

浦尾 たか子

川本 義海

玉岡 かおる

中瀬 勲

藤井 聡

宗田 好史